

学校法人高野山学園

第2期中期計画 2025年（令和7年度）～2029年（令和11年度）

はじめに

学校法人高野山学園では、中期計画を策定するにあたり、2020年度から2024年度までの計画を第1期中期計画とし、次の2025年度から2029年度までの計画を第2期中期計画と位置付けました。

第2期中期計画は、第1期中期計画の総括の上に作成しました。第1期中期計画では、入学定員の充足と、財務状況の改善を目的として、大阪府河内長野市にある大阪千代田短期大学のキャンパスに河内長野キャンパスを併設することで、文学部教育学科を新設しました。

しかし、教職に対するマイナス評価の一般化とともに、新型コロナウイルスの感染症拡大が加わった結果、教育学科の学生募集は当初の予想に反して振るわず、完成年度の2024（令和6）年度現在、教育学科の定員充足率は21%にとどまっています。この結果を踏まえて学校法人高野山学園では、2025（令和7）年度から教育学科の入学定員の内35名を密教学科に付け替えること、さらには2028（令和10）年度には河内長野キャンパスから高野山キャンパスに移設・統合することを決定いたしました。

このように第1期計画の中核が根本的に見直しになったため、第2期中期計画は、前期の中期計画を全面的に見直しつつ策定することとなりました。ただし、少子化の加速や社会の変動に対応するために、この第2期中期計画は、2025年度から2027年度までの3年で一度全面的な進捗状況のチェックと見直しを実施する予定です。

本学園がこれからも広く社会から必要とされる教育機関として一層の発展をできますよう、本学園構成員の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

I. 高野山大学

1. 概要

高野山大学では、学校法人高野山学園の第1期中期計画の全面的な見直しを踏まえるとともに、本学の教育理念と、存続の意義に立ち返ることとしたいと思います。具体的には、以下の点を第2期中期計画の骨子として設定します。

(1)密教研究の拠点としてのブランディング

(2)文学部のカリキュラム改編

(3)ICTを用いた遠隔授業と社会人学生増加による文学部収容定員の充足

(4)教職員配置の適正化による人事計画の策定とFD/SD体制の強化、ICT活用による事務の効率化

以上の施策に基づきつつ、第2期では本学の財務状況を、キャッシュフローベースで収支差額±0にまで改善することを目指します。

2. 高野山大学第2期中期計画

基本情報

プロジェクト名	高野山大学中期計画（2025-2029）	
作成日	2025年1月 日	
担当部門	高野山大学中長期計画策定委員会	
計画期間	2025年4月1日～2029年3月31日 ※3年目に進捗チェックと見直し	

目的と目標

目的	高野山大学の中期計画の基盤として、密教研究の拠点としての地位を確立し、国内外からの評価を高める。教育の質を向上させることで、学生の満足度と社会的価値を高める。
目標	①ブランド強化：研究成果の積極的な発表や競争的資金の獲得などを通して、密教研究の拠点としての評価を高める。 ②教育改革：ICTを活用した遠隔授業の導入と拡充を中心とした文学部・文学研究科カリキュラム改編を通じて教育の質を向上させる。 ③大学運営の効率化：教職員の配置と育成を、ICTの活用によって最適化し、効果的な人事計画を推進することで、大学運営の効率化を図る。

成果指標と評価

定員充足率	定員充足率 90%以上の安定化
財務改善	CFベースでの収支差額±0の達成
研究の成果	科学研究費助成事業への申請率の50%増加（2023年度10件→15件以上）
教育の質	学生満足度調査や卒業生の就職率などの5%改善（2023年度前期88%→93%以上）

具体的な施策

1) 教育研究組織

- 学術連携 | 密教研究における学術会議の主催と共同研究の推進（①）

- 研究成果の発信 | 研究成果の積極的な発信 (①)
- 競争的資金 | 研究費申請率の増加 (①)
- 貴重書の整理・調査 | 図書館所蔵資料の整理・調査業務体制の構築 (①)

2) 教育課程・学習成果

- 教育評価システム | 教育評価システムの導入と定期的な見直し (①)
- カリキュラム改編 | 文学部・文学研究科のカリキュラム改編、新カリキュラムの開発と導入 (②)
- 僧侶育成プログラム | 僧侶養成と社会人育成とを連結させた授業群の構築 (②)
- 授業内容の更新 | 学生のニーズや時代の変化に対応した授業内容の更新 (②)

3) 学生の受け入れ

- 社会人学生の増加 | 社会人学生向けプログラムの拡充とプロモーション (②)
- 遠隔授業 | ICT を活用した遠隔授業の拡充 (②)

4) 教員・教員組織

- 教員配置の適正化 | 教員の人事計画の見直しと教員配置の最適化 (③)
- FD/SD 体制の強化 | FD/SD プログラムの強化 (③)
- ICT の活用 | ICT を活用した教員業務の効率化 (③)

5) 学生支援

- キャリア支援 | 定期的な研修とキャリア支援の実施、企業との連携 (②)
- 学生満足度調査 | 学生満足度調査の実施と結果の反映 (②)

6) 教育研究等環境

- ICT インフラ | ICT インフラの整備と教職員の ICT スキル向上 (③)
- 教材開発 | 遠隔授業の教材開発と評価 (②)
- TA・RA の配置 | TA および RA の配置と育成 (②)

7) 社会連携・社会貢献

- 公開講座やイベント | 密教・仏教・高野山を紹介する公開講座やイベントの開催 (①)
- 地域貢献 | 地域ボランティア等への参加、山内年中行事への参加 (①)
- 記念論文集の出版 | 密教学・仏教学の新基準となる論文集の作成・編集・出版 (①)

8) 大学運営

- 事務職員配置の適正化 | 事務職員の人事計画の見直しと職員配置の最適化 (③)
- 研究補助職員の配置 | 研究活動補助を担当する事務職員の配置と育成 (③)
- 遠隔支援職員の配置 | 遠隔授業支援を担当する事務職員の配置と育成 (③)
- 事務作業の効率化 | ICT 活用による事務作業の効率化 (③)
- 年次事業計画の策定 | 大学全体の年次事業計画の取りまとめと策定 (①～③)

セクション配当

| 役職会

- 4) 教員配置の適正化 (③)
- 8) 事務職員配置の適正化 (③)
- 8) 年次事業計画の策定 (①～③)

| 密教学科

- 2) 教育評価システム (②)

- 2) カリキュラム改編 (②)
- 2) 僧侶育成プログラム (②)
- 2) 授業内容の更新 (②)
- 3) 社会人学生の増加 (②)
- 3) 遠隔教育 (②)
- 4) ICT の活用 (②)
- 5) キャリア支援 (②)
- 5) 学生満足度調査 (②)
- 6) 教材開発 (②)
- 6) TA・RA の配置 (②)
- 7) 公開講座やイベント (①)
- 7) 地域連携 (①)
- 7) 記念論文集の出版 (①)

| 教育学科

- 2) 教育評価システム (②)
- 2) カリキュラム改編 (②)
- 2) 授業内容の更新 (②)
- 4) ICT の活用 (②)
- 5) キャリア支援 (②)
- 5) 学生満足度調査 (②)
- 7) 地域貢献 (①)

| 文学研究科

- 1) 研究成果の発信 (①)
- 1) 競争的資金 (①)
- 1) 貴重書の整理・調査 (①)
- 2) カリキュラムの改編 (②)
- 3) 遠隔教育 (②)
- 6) 教材開発 (②)
- 6) TA・RA の配置 (②)
- 7) 記念論文集の出版 (①)

| 総務課

- 1) 競争的資金 (①)
- 3) 社会人学生の増加 (②)
- 4) FD/SD 体制の強化 (③)
- 4) ICT の活用 (②)
- 6) ICT インフラ (②)
- 7) 記念論文集の出版 (①)
- 7) 公開講座やイベント (①)
- 8) 事務職員配置の適正化 (③)
- 8) 事務作業の効率化 (③)

| 学務課

- 2) 教育評価システム (②)
- 2) カリキュラム改編 (②)
- 2) 授業内容の更新 (②)
- 4) 教員配置の適正化 (③)
- 4) FD/SD 体制の強化 (③)
- 4) ICT の活用 (②)
- 5) キャリア支援 (②)

- 5) 学生満足度調査 (②)
- 6) 教材開発 (②)
- 7) 地域連携 (①)
- 8) 遠隔支援職員の配置 (③)
- 8) 事務作業の効率化 (③)

| 図書館

- 1) 貴重書の整理・調査 (①)
- 6) TA・RA の配置 (②)
- 8) 研究補助職員の配置 (③)

| 研究所

- 1) 学術連携 (①)
- 1) 研究成果の発信 (①)
- 1) 競争的資金 (①)
- 1) 貴重書の整理・調査 (①)
- 6) TA・RA の配置 (②)
- 8) 研究補助職員の配置 (③)

進捗管理 (大学評価)

- | 定期的な進捗評価 | 各施策の進行状況を定期的に評価し、必要に応じて調整を行う。
- | フィードバック機構 | 各施策の効果を見直し、改善点をフィードバックする体制を整備。

(以上)

Ⅱ. 高野山高等学校

1. 概要

高野山高等学校では、学校法人高野山学園の第1期中期計画の全面的な見直しを踏まえるとともに、本校の教育理念をさらに深め、引き続き生徒・保護者から選んでもらえる学校創りに邁進いたします。具体的には、以下の点を第2期中期計画の骨子として設定します。

- (1) 強化クラブ競技（男子硬式野球・女子ハンドボール・男子バスケットボール・駅伝）の公式戦での上位成績への固執。
- (2) 寮教育の更なる充実化
- (3) ICT教育の更なる拡充のための施設整備による教育の引き上げ
- (4) 通信教育の募集活動の強化
- (5) 本校の根幹である宗教科生の募集強化

以上の施策に基づきつつ、第2期では本校の財務状況を、少しでも改善できることを目指します。

2. 高野山高等学校第2期中期計画

基本情報

プロジェクト名	高野山高等学校中期計画（2025-2029）	
作成日	2024年8月1日	
担当部門	高野山高等学校中長期計画策定委員会	
計画期間	2024年8月1日～2029年3月31日 ※3年目に進捗チェックと見直し	

目的と目標

- | | |
|----|---|
| 目的 | 高野山高等学校の中期計画の基盤として、生徒数を増加し、生徒・保護者から選ばれる学校を目指す。本校のこれまでの活動を精査しさらに強化させることで、生徒の満足度と社会的価値を高める。 |
| 目標 | ①ブランド強化 : 強化クラブ（男子硬式野球・女子ハンドボール・男子バスケットボール・駅伝）の「上位成績」により、学校の認知度が上がり、中学生にとって「行きたい学校」となる評価を得る。また全国唯一の「宗教科」のブランドを上げるべく、宗内、大師教会支部、他派へ募集活動を行う。 |
| | ②教育改革 : 8割近くの生徒が寮生活を行っているが、男子寮は令和2年新築、女子寮は令和4年にリニューアルするなど、施設を整えていただいた。寮教育の内容充実で弘法大師の理念に沿った人間形成を目指す。さらにICTを活用した授業の更なる拡充により、教育の質を向上させる。 |
| | ③高校経営の透明化 : 予算や決算などを見直し、更なる細かな精査を行うことで、無駄を可能な限り省き、必要な教育人件費や教育拡充費に充てて、施設管理を行い健全な運営を目指す。 |

成果指標と評価

生徒数確保	150名（1学年50名）の安定化（宗教科生8名目標）
財務改善	CFベースでの収支差額±0に近づける
強化クラブ	硬式野球和歌山大会ベスト4以上＋近畿大会出場、女子ハンドボール近畿大会＋全国大会出場、男子バスケットボール近畿大会＋全国大会出場、駅伝近畿大会出場
進路実績	国公立（目標1人）、難関私立大学（目標8人）への進学率向上

具体的な施策

1) 強化クラブにおける有力選手の獲得

- 生徒募集 | 各競技における中学時代の競技成績に応じた特待制度の活用（①）
- 指導者の確立 | 各競技の専門領域を指導できる指導者の策定（①）
- 特待生の資金調達 | 予算により必要分確保（①③）
- 練習内容の工夫 | 高野山の厳寒を考えた練習方法の工夫。練習時間の確保（①）
- 生活環境の安心 | 体験スクール・体験入寮を通じて生活環境の安心を周知（①②）

2) 強化クラブの成績

- 練習成果 | 練習内容や個々の体力強化の数値化（①②）
- 練習内容の改編 | 各クラブの練習内容を精査し、生徒の達成感が得られる練習内容を導入（①）
- 生活面の教化 | 競技だけでなく、人間性を高めることで競技成果が得られることを策定（②）
- 練習試合の見直し | 練習試合の頻度を見直し、必要な練習試合は積極的にを行い、試合ごとに反省点を見出す（①③）

3) 留学生の受け入れ

- バスケットボールのナイジェリア生 | バスケットボールの全国大会出場に不可欠な海外留学生の受け入れを隔年で行い、必ず1名は留学生がチームに在籍しているようにする。（①）
- 中国留学生 | 上海朝陽義塾高中との連携で2年次編入生の確保。未来教育支援協会との連携で中国留学新入生の確保（①②）

4) 教員・教員組織

- 教員配置の適正化 | 教員の人事計画の見直しと教員配置の最適化（②③）
- ICTの活用 | ICTを活用した教員業務の効率化（②③）
- 教員確保 | 教育界が教員不足といわれる中、通年での募集により質の高い教員の採用（②③）

5) 生徒支援

- 進路指導 | 指定校推薦の確保、進路指導啓発活動の実施、就職希望者への企業との連携 (①②)
- 学生満足度調査 | 学生満足度調査の実施と結果の反映 (①②)

6) 教育環境

- ICT インフラ | ICT インフラの整備と教職員の ICT スキル向上 (③)
- 教材研究 | 各教員の授業質の向上と生徒評価 (②)
- TT の配置 | 複数教員による指導できめ細やかな教育の実践 (②③)

7) 社会連携・社会貢献

- イベントへの参加 | 和歌山県国際課や宗団・本山からの依頼があれば積極的参加 (①)
- 地域貢献 | 高野町など地域ボランティア等への参加、山内年中行事への参加、インターアクトクラブによる募金や社会貢献活動の積極的参加 (①)
- SDGS 活動の実践 | 本校生徒会が取り組んでいる SDGS 活動を継続 (①)

8) 高校運営

- 教職員人事の適正化 | 教職員の人事の精査と教職員配置の最適化 (③)
- 生活指導の強化 | 生徒の風紀を向上させ、居心地の良い学校作り (②)
- 養護教諭・SC の配置 | 生徒の精神的寄り添いができる環境づくり (①②)
- 教職員共有の効率化 | ラインワークスによる共有事項の効率化 (③)
- 教務の強化 | 指導要領に沿った教育活動の実践 (②③)
- 募集活動の強化 | 宗教科生の募集を強化すべく、宗内寺院に対して併願受験の呼びかけを行う (まずは併願受験から本校への受験に対する意識改革)。また、大師教会支部、他派への募集要項の発送を行い、僧侶を志す可能性のあるターゲットに届くようにする。(①②)

セクション配当

| 管理職

- 1) 指導者の確立 (①)
- 1) 特待生の資金調達 (①③)
- 3) バスケットボールのナイジェリア生 (①)
- 3) 中国留学生 (①②)
- 4) 教員配置の適正化 (②③)
- 4) 教員確保 (②③)
- 5) 学生満足度調査 (①②)
- 6) ICT インフラ (③)
- 6) TT の配置 (②)
- 7) イベントの参加 (①)
- 7) 地域貢献 (①)
- 8) 教職員人事の適正化 (③)
- 8) 養護教諭・SC の配置 (①②)
- 8) 募集活動の強化 (①②)

教務部	<input type="checkbox"/> 1) 生徒募集 (①) <input type="checkbox"/> 3) バスケットボールのナイジェリア生 (①) <input type="checkbox"/> 3) 中国留学生 (①②) <input type="checkbox"/> 4) 教員配置の適正化 (②③) <input type="checkbox"/> 4) ICT の活用 (②③) <input type="checkbox"/> 5) 学生満足度調査 (①②) <input type="checkbox"/> 6) ICT インフラ (③) <input type="checkbox"/> 6) 教材研究 (②) <input type="checkbox"/> 6) TT の配置 (②) <input type="checkbox"/> 7) SDGS 活動の実践 (①) <input type="checkbox"/> 8) 教務の強化 (①～③)
進路指導部	<input type="checkbox"/> 3) バスケットボールのナイジェリア生 (①) <input type="checkbox"/> 3) 中国留学生 (①②) <input type="checkbox"/> 5) 進路指導 (②)
生活指導部	<input type="checkbox"/> 1) 生活環境の安心 (①②) <input type="checkbox"/> 2) 生活面の教化 (②) <input type="checkbox"/> 3) バスケットボールのナイジェリア生 (①) <input type="checkbox"/> 3) 中国留学生 (①②) <input type="checkbox"/> 5) 学生満足度調査 (①②) <input type="checkbox"/> 8) 生活指導の強化
事務所	<input type="checkbox"/> 1) 特待生の資金調達 (①③) <input type="checkbox"/> 3) バスケットボールのナイジェリア生 (①) <input type="checkbox"/> 3) 中国留学生 (①②) <input type="checkbox"/> 4) 教員配置の適正化 (②③) <input type="checkbox"/> 4) 教員確保 (②③) <input type="checkbox"/> 6) ICT インフラ (③) <input type="checkbox"/> 8) 募集活動の強化 (①②)
寮	<input type="checkbox"/> 1) 生活環境の安心 (①②) <input type="checkbox"/> 3) バスケットボールのナイジェリア生 (①) <input type="checkbox"/> 3) 中国留学生 (①②) <input type="checkbox"/> 5) 学生満足度調査 (①②) <input type="checkbox"/> 8) 生活指導の強化

通信制

- 4) 教員配置の適正化 (②③)
- 4) ICT の活用
- 4) 教員確保 (②③)
- 5) 進路指導 (②)
- 5) 学生満足度調査 (①②)
- 6) ICT インフラ (③)
- 6) 教材研究 (②)

スポーツコース

- 1) 生徒募集 (①)
- 1) 練習内容の工夫 (①)
- 1) 生活環境の安心 (①②)
- 2) 練習成果 (①②)
- 2) 練習内容の改編 (①)
- 2) 生活面の教化 (②)
- 2) 練習試合の見直し (①③)
- 3) バスケットボールのナイジェリア生 (①)
- 5) 進路指導 (②)
- 8) 生活指導の強化 (②)

進捗管理 (学校評価)

- | 定期的な進捗評価 | 各施策の進行状況を定期的に評価し、必要に応じて調整を行う。
- | フィードバック機構 | 各施策の効果を見直し、改善点をフィードバックする体制を整備。

(以 上)